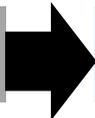




【令和4年度】



【令和5年度】

【オンデマンド動画】 8コマ

【1日目】

講義：避難生活支援リーダー／サポーターとは（30）  
 講義：多様な被災者の理解とその配慮（45）  
 演習：被災者の心情や状況の理解（120）

【2日目】

講義：避難所の全体像の理解（30）  
 演習：避難所の課題と生活環境の整備（270）

【3日目】

講義・演習：対人コミュニケーション（130）  
 講義：被災者の困りごとの把握の重要性（30）  
 演習：情報共有・認識共有・合意形成の必要性（160）

※（）内は所要時間

【オンデマンド動画】 8コマ（一部見直し）

【1日目】 講義・演習時間合計：270分程度  
 オリエンテーション（30）

講義：避難生活支援リーダー／サポーターの内容含む  
 講義：多様な被災者の理解とその配慮（30）  
 演習：被災者の心情や状況の理解（30+70）  
 講義・演習：対人コミュニケーション（110）

【2日目】 講義・演習時間合計：270分程度  
 講義：避難所の全体像の理解（30）

+ 講義：被災者の困りごとの把握の重要性（30）  
 演習：避難所の課題と生活環境の整備（70+60）  
 演習：情報共有・認識共有・合意形成の必要性（140）

※赤字は大幅に変更する点



## 【1日目】

【開会・オリエンテーション】 10:00-10:40  
避難生活支援リーダー／サポーターの説明含む

【講義：多様な被災者の理解とその配慮】  
10:40-11:10

【演習：被災者の心情や状況の理解】  
11:20-12:00 /趣旨、自己紹介、個人ワークまで

-----  
【演習：被災者の心情や状況の理解】 続き  
13:00-14:00 /グループ共有、発表、コメント

【講義・演習：対人コミュニケーション】  
14:10-16:30 /グループ共有、発表、コメント

【クロージング】 16:30-17:00

## 【2日目】

【ふりかえり等】 10:00-10:10

【講義：避難所の環境とその対応】  
10:10-10:50 /避難所の全体像（環境面）  
+困りごとへの対応（多様な担い手との協働）

【演習：避難所の課題と生活環境の整備】  
10:50-12:00 /趣旨、自己紹介、巡回

-----  
【演習：避難所の課題と生活環境の整備】 続き  
13:00-14:00 /グループ協議、改善

【演習：情報共有・認識共有・合意形成の必要性】  
14:00-16:30 /演習時間80分+発表・解説60分

【クロージング】 16:30-17:00

昼食  
休憩



## 【プログラム】

【開会・オリエンテーション】 10:00-10:40  
避難生活支援リーダー／サポーターの説明含む

【講義：多様な被災者の理解とその配慮】  
10:40-11:10

【演習：被災者の心情や状況の理解】  
11:20-12:00／趣旨、自己紹介、個人ワークまで

【演習：被災者の心情や状況の理解】 続き  
13:00-14:00／グループ共有、発表、コメント

【講義・演習：対人コミュニケーション】  
14:10-16:30／グループ共有、発表、コメント

【クロージング】 16:30-17:00

## 【内容・訴求ポイント等】

- ・ 開会挨拶（内閣府・都道府県・市町村）
- ・ オリエンテーションで**研修実施の背景・リーダー／サポーターの役割を説明**

- ・ 阪神・淡路大震災の動画紹介、被災者の置かれる立場の理解、要配慮者それぞれの解説  
**★被災者の心情・配慮が必要な人たちを理解する**

- ・ 演習のねらい説明、グループでの自己紹介
- ・ 動画（2本）見て、個人で考える時間まで実施

- ・ グループでの共有、発表、講師のコメント  
**★被災者の心情やそれぞれ背景を理解する**

- ・ 高齢者・女性・若者等、5つの被災者ケースに対するコミュニケーションをロールプレイを実施  
**★コミュニケーションのマインドとテクニックを理解する**

- ・ ふりかえり、アンケート記入、2日目説明



## 【プログラム】

【ふりかえり等】 10:00-10:10

【講義：避難所の環境とその対応】

10:10-10:40 / 避難所の全体像（環境面）  
+ 困りごとへの対応（多様な担い手との協働）

【演習：避難所の課題と生活環境の整備】

10:40-12:00 / 趣旨、自己紹介、巡回

【演習：避難所の課題と生活環境の整備】 続き

13:00-14:00 / グループ協議、改善

【演習：情報共有・認識共有・合意形成の必要性】

14:00-16:30 / 演習時間80分+発表・解説60分

【クロージング】 16:30-17:00

## 【内容・訴求ポイント等】

- 1日目の内容ふりかえり

- 避難所に必要な機能、被災者の困りごとへの対応方の考え方を説明  
★避難所の機能、多様な担い手と協働して対応することの必要性を理解

- 趣旨説明、グループでの自己紹介、再現した避難所の各スペース改善が必要な点を確認する

- 改善策の検討（個人、グループ）、具体的な改善  
★避難所の主要なスペースの機能、改善方策を理解

- 高齢者・女性・若者等、5つの被災者ケースについて困りごとの整理、対応策と一緒に取り組む担い手をグループで話し合う。発表、講師による解説  
★被災者の困りごと、多様な担い手と協働して対応することを具体的に理解

- ふりかえり、アンケート記入、修了証授与・名簿登録



避難所運営の基本的なスキルを修得し、自治体職員や被災者とともに、避難所の生活環境向上に率先して取り組むことができる人材

## 【期待される役割】

避難所における課題や被災者の困りごと、変化に気づく力

被災者一人ひとりの声を丁寧に聴き、その心情に寄り添い、被災者とともに取り組む姿勢（伴走することが大事）

気づいた課題や困りごとを避難所運営に関わる多様な担い手と共有し、具体的な解決に向けて共に話し合い、サポートする

## 【関連するプログラム】

- 1日目講義 多様な被災者の理解とその配慮
- 1日目演習：被災者の心情や状況の理解

- 1日目演習：被災者の心情や状況の理解、対人コミュニケーション
- 2日目演習：避難所の課題と生活環境の整備

- 2日目講義：避難所の環境とその対応
- 2日目演習：避難所の課題と生活環境の整備